

当院にて多焦点眼内レンズ摘出手術を受けられた患者さんへ

現在、当院は「多焦点眼内レンズ摘出例のアンケート調査」という多施設共同研究の参加施設となっております。これは、多焦点眼内レンズの挿入手術を受けた後に、何らかの理由により摘出手術を受けた患者様に関する研究です。以下の内容をご確認ください。

1. 調査対象になるのは、多焦点眼内レンズの挿入手術を受けた後、これまでに何らかの理由により当院にて摘出手術を受けた患者様です。
2. 性別、年齢、手術日、合併症の有無、眼軸長、眼内レンズの状態・位置、視力、屈折度数、角膜乱視、波面収差、コントラスト感度、入れ替えたレンズの種類、臨床経過、不満の原因などについて調査担当医師が対象となる患者さんの症例調査票を作成します。
3. 本研究に参加してもしなくても当院での診療内容には一切の変更はありません。本研究の参加の有無にかかわらず全く同じ医療を受けることができます。
4. 症例調査票には、住所・氏名などの患者さんの個人が特定される情報が入力されることはありません。
5. 調査したデータは、当院にて集計後（個人情報管理責任医師 ビッセン宮島弘子）、他の4施設（林眼科病院、北里大学病院、慶應義塾大学病院、筑波大学水戸地域医療教育センター）からのデータとともに、林眼科病院で解析を行います。解析後のデータは破棄されます。
6. 本研究への参加をどの時点でも辞退（撤回）することができます。この場合は担当医にご相談ください。参加を辞退しても治療上の不利益を受けることはありません。
7. 本研究は日本白内障屈折矯正手術学会の研究助成により行われます。
8. 本研究に参加することで費用の負担が増えることも減ることもありません。謝金等も一切発生しません。
9. 今回の研究で得られた結果に関しては、日本白内障屈折矯正手術学会や医学的な専門学会や専門雑誌などで報告されることがありますが、名前や個人を特定する情報が公表されることはなく、個人情報は守られます。
10. 本研究について質問あるいは疑問がある時は、いつでも下記担当医、あるいは問い合わせ窓口にご連絡ください。

担当医 ビッセン宮島弘子（教授）

吉野真未（助教）

平沢 学（助教）

問い合わせ窓口 東京歯科大学水道橋病院眼科

電話 03-5275-1856